

平成 30 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和元年度調査)
後発医薬品の使用促進策の影響及び実施状況調査: 保険薬局票 調査要綱

回答者

- ・ 本調査は、保険薬局の開設者・管理者の方にご記入をお願いしております。可能な限り、貴薬局の状況を把握し意思決定に関わる方がご回答ください。

回答方法

- ・ 調査票は様式 1 (A4・11 ページ) と様式 2 (A4 用紙 1 枚、表裏) に分かれています。ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、様式 1・2 の両方についてご回答ください。
- ・ 紙の調査票をお送りしていますが、電子調査票で回答することも可能です。いずれか回答しやすい方法でご回答ください。

＜紙の調査票で回答する場合＞

- ・ 紙の調査票にご記入の上、様式 1、様式 2 のすべてを同封の返信用封筒（切手不要）にてお近くのポストに投函してください。

＜電子調査票で回答する場合＞

- ・ 下記の「電子調査票の入手元」に示すアドレスのウェブサイトアクセスし、画面上で紙の調査票の左上に記載の ID 番号を入力の上、掲示されている電子調査票をダウンロードし、**必ず電子調査票 1 頁目の左上に ID 番号を記入の上**、ご回答ください。回答後は、電子メールに添付し、**必ずメールの件名(タイトル)に、ID 番号と“調査票の送付”を記入の上**、下記の「電子調査票の送付先」に示すメールアドレス宛にご送信ください。

電子調査票の入手元	https://www.kensho2019.jp
電子調査票の送付先	kensho1905@mizuho-ir.co.jp

- ・ 紙の調査票は提出せず、電子調査票の送信後、破棄してください。

調査期間

令和元年 8 月 16 日(金)までにポストに投函するか、上記メールアドレスにご送信ください。

様式 1 の記入要領

1. 貴薬局の状況(令和元年6月末日現在)

⑦ 売上高に占める保険調剤売上割合

- ・ 「保険調剤売上」には医療保険分の他、居宅療養管理指導費（介護保険）も含めてください。

⑧ 調剤基本料、⑧-1 全処方箋の受付回数、⑧-2 主たる保険医療機関に係る処方箋の受付回数の割合、⑧-3 特定の保険医療機関との不動産の賃貸借関係の有無

- ・ 質問⑧-1 では、調剤基本料の根拠となった、全処方箋の受付回数（ただし、同一グループの保険薬局の場合、グループとしてではなく貴薬局単独の受付回数）をご回答ください。
- ・ 質問⑧-2 は、以下のとおりです。

例：貴薬局の全処方箋の受付回数 1,000 回

最も受付回数が多い A 診療所発行の処方箋受付回数 720 回

→質問⑧-2 $720 \div 1,000 \times 100 = 72.0\%$ 回答は「72.0」とご記入ください。

- ・質問⑧-3 では、調剤基本料の根拠となった、特定の保険医療機関との不動産の賃借関係の有無をご回答ください。不動産とは土地及び建物を指します。来局者のための駐車場を医療機関の駐車場と共有している場合も含みます。

2. 貴薬局での取り扱い処方箋(令和元年 6 月 21 日(金)~6 月 27 日(木)の 1 週間分)

(1) 受け付けた処方箋枚数

- ・①では、対象期間である 1 週間に貴薬局で受け付けたすべての処方箋の枚数をご記入ください。後発医薬品調剤割合を算出する際に除外する医薬品を含むものでも、その処方箋枚数をご記入ください。漢方製剤も含めてください。

(2) 受け付けた処方箋に記載された医薬品の品目数

①~⑭医薬品数

- ・上記(1)①でご回答いただいた処方箋に記載されている処方医薬品を品目ベース(数量ベースではございません)でご記入ください。

例) 処方箋上の記載

コロナール錠 200 2錠 6回
クラリシッド錠 200mg 2錠 5日

} → 「2 品目」と数えます。

- ・同じ医薬品でも処方箋が別であれば、別にカウントしてください。

① 一般名で処方された医薬品の品目数

- ・「一般名」+「剤形」+「含量」で記載された医薬品の品目数をご記入ください。会社名が入っている場合はこの項目には該当しません。

⑨ ⑦のうち、外用剤が処方され、同一剤形の後発医薬品がなかったため変更できなかった医薬品の品目数

- ・⑧に該当する、薬価収載されていない医薬品は除きます。薬価収載されているものの貴薬局で同一剤形を在庫していなかったため変更できなかった場合についてのみカウントしてください。

⑩ ⑦のうち、患者が希望しなかったため、後発医薬品に変更できなかった医薬品の品目数

- ・⑧⑨以外で、後発医薬品について説明を行い、患者の希望をたずねた結果、後発医薬品に変更することができなかった先発医薬品の品目数をご記入ください。
- ・過去に説明した際に、患者が希望しない意思を明確にしており、今回も後発医薬品への変更をしなかった場合を含みます。

⑬ その他の品目名で処方された医薬品の品目数

- ・一般名処方(①)、先発医薬品(準先発品を含む)(④)、後発医薬品(⑩)、のいずれにも該当しない医薬品の品目数についてすべてご記入ください。

3. 後発医薬品の採用状況等

(1)調剤用医薬品の備蓄状況

① 調剤用医薬品備蓄品目数

- ・令和元年 6 月末日時点の調剤用医薬品の備蓄状況について、「全医薬品の品目数」、「うち、後発医薬品の品目数」をご記入ください。正確な数がわからない場合は、概数での記載で結構です。規格単位が異なる場合は、別品目として数えてください。
- ・6 月末日の数値が不明の場合、把握可能な直近月の末日時点の数値をご記入ください。

② バイオ後続品の備蓄品目数

- ・「バイオ後続品」とは、いわゆる「バイオシミラー」と呼ばれるもので、既に国内で新薬として承認され、特許期間が満了した先行バイオ医薬品の後続品です。例えば、ソマトロピン BS 皮下注（サンド）などがあります。

③ 後発医薬品の平均備蓄品目数

- ・貴薬局で1つの銘柄の先発医薬品に対して、平均何品目（銘柄）の後発医薬品を備えているかをご記入ください。

例) 先発医薬品 α 10mg

先発医薬品 α 20mg

後発医薬品 A 10mg

後発医薬品 B 10mg

後発医薬品 A 20mg

後発医薬品 B 20mg

貴薬局の在庫

→先発医薬品2品目に対し、後発医薬品が4品目なので、 $4 \div 2 = 2$ となり、「平均2.0品目」となります。

(2)調剤医薬品の在庫金額・購入金額・廃棄額

① 在庫金額

- 平成 29 年 6 月末日及び令和元年 6 月末日の在庫金額を、1)全医薬品、2)うち後発医薬品についてご記入ください。正確な在庫金額がわからない場合は、概算の金額で結構です。

② 購入金額

- 平成 29 年 4 月～6 月及び平成 31 年 4 月～令和元年 6 月までのそれぞれの調剤用医薬品の合計購入金額（消費税込、薬価ベースではなく仕入価格ベースです）を、1)全医薬品、2)うち後発医薬品についてご記入ください。正確な購入金額がわからない場合は、概算の金額で結構です。

③ 医薬品廃棄額

- ・ 平成 29 年 4 月～6 月及び平成 31 年 4 月～令和元年 6 月までのそれぞれの合計廃棄額(消費税込)を、1)全医薬品、2)うち後発医薬品についてご記入ください。正確な廃棄額がわからない場合は、概算の金額で結構です。
- ・ 経時変化や陳旧化した品目等による廃棄損耗金についてもご記入ください。

様式 2 の記入要領

全般的なこと

1. 対象の処方箋は、令和元年6月28日(金)に受け付けた1日分の処方箋のうち、以下の①②のいずれか1つでも該当したものです。

ただし、6月28日が休局日または周辺の主な医療機関の休診日だった場合は、6月28日より前で直近の1日（但し、休局日にも周辺の主な医療機関の休診日にも該当しない日）についてご回答ください。

- ① 後発医薬品(ジェネリック医薬品)への変更が不可の場合の署名欄に処方医の署名又は記名・押印がない(つまり、全てが変更可能となっている)、又は署名欄に処方医の署名または記名・押印があるものの「変更不可」欄に「レ」又は「×」が記載されていない処方箋で、変更不可となっていない先発医薬品を実際に後発医薬品に変更した医薬品が1品目でもある場合。

・先発医薬品→後発医薬品に変更調剤したものが1品目でもある処方箋。

- ② 1 品目でも一般名処方となっている医薬品を後発医薬品で調剤した場合。

：一般名で処方された医薬品→後発医薬品を選択・調剤したものが1品目でもある処方箋。

2. 上記の処方箋について、処方箋 1 枚につき 1 行を使ってご記入ください。
3. 上記①に対応する場合（先発医薬品から後発医薬品に変更調剤した医薬品が 1 品目でもある場合）、**「先発→後発」欄に○をつけてください。**
4. 各々の処方箋について、処方箋に記載された銘柄どおりに調剤した場合の薬剤料の合計を（A）欄に、また実際に（後発医薬品へ変更して）調剤した薬剤料の合計を（B）欄にご記入ください。薬剤料のみであり調剤技術料等は含めないでください。
5. 一般名処方の医薬品について、該当の先発医薬品（貴局で在庫があるもののうち最も薬価が低い医薬品、在庫がない場合は薬価収載されている該当の全先発医薬品のうち最も薬価が低い医薬品）で調剤した場合の薬剤料を（A）欄に、また実際に（後発医薬品で）調剤した薬剤料を（B）欄にご記入ください。
6. **薬剤料は処方箋単位でのご回答をお願いしておりますので、上記 1.の①と②が同一の処方箋にあった場合は、1 回だけ回答してください（この場合、「先発」→「後発」欄に○をつけてください）。**
7. 各々の処方箋について、その処方箋を持参した患者の一部負担金の割合を（C）欄にご記入ください（例：健保組合の被保険者 3 割の場合→「3」とご記入ください）。患者の一部負担金がない場合は「0」とご記入ください。
8. 様式 2の用紙 1 枚で、処方箋 60 枚分（表面 25 枚分、裏面 35 枚分）の情報を記入することができます。該当する処方箋が 60 枚を超える場合でも、処方箋受付順に対象処方箋 60 枚までをご記入ください。

例)

患者が持参した処方箋の処方内容

先発医薬品 α 10mg×7 日分 （薬剤料 400 点） 変更不可
 先発医薬品 β 20mg×7 日分 （薬剤料 300 点）
 一般名 γ ×7 日分
 （最も薬価が低い先発医薬品の薬剤料 200 点）

様式 2 への記載方法

400+300+200=
 900 点なので
 （A）欄に
 「900」（点）と記入

貴薬局で実際に調剤した内容

先発医薬品 α 10mg×7 日分 （薬剤料 400 点）
 後発医薬品 B 20mg×7 日分 （薬剤料 210 点）＜変更＞
 後発医薬品 C×7 日分 （薬剤料 140 点）

400+210+140=
 750 点なので
 （B）欄に
 「750」（点）と記入

本調査で、ご不明な点等がございましたら、下記事務局までお問い合わせください。

☆☆☆お問い合わせ☆☆☆

「診療報酬改定結果検証に係る調査」事務局

〒101-8443 東京都千代田区神田錦町 2-3 みずほ情報総研株式会社

お問い合わせ先

【TEL】 0120-685-608（受付時間 10:00～17:00、土日・祝日除く）

【E-mail】generic2019@mizuho-ir.co.jp

※この調査は厚生労働省保険局医療課から委託を受けて実施しております。